



786号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



12月4日(木) 10:00~10:30 第7回 検数労連24冬季一時金交渉
全ての地域から批准・一任を受け、妥結を表明。
支給日12月10日(火)を確認。

【各地域から出された主な意見】

《全日検》

(評価点)

- 乗率0.005ヶ月アップ。
- 昨冬比プラス回答。
- 安定した一時金。
- 契約雇員の昨冬比プラス回答。
- 特別手当の回答が無いこと。

《日検協会》

(評価点)

- 乗率の0.1ヶ月アップ。
- 都市加算の満額回答
- 有額回答指定日の回答提示。
- 昨冬比プラス回答。
- 港湾の軍事利用への回答。

《全日検》

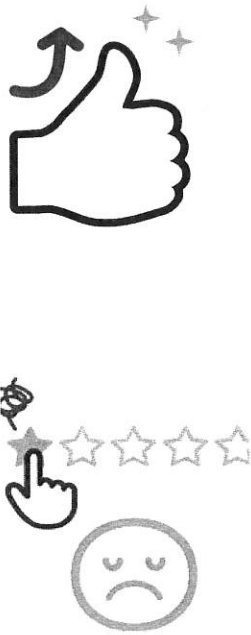
(不満点)

- 有額回答指定日に回答未提示。
- 昨冬比アップも上げ幅が低額すぎる。
- 調整加算による地域間格差回答。
- 要求していない調整加算。

《日検協会》

(不満点)

- 要求との関係では未達。
- 上げ幅が不十分。
- 業績加算による支部間格差回答。
- 業績加算の基準や考え方が不透明。



【第7回交渉】

前回の交渉で組合は24冬季一時金闘争について機関手続きに入る旨を表明。その後、各地域闘争委員会に対し中間見解に対する意見集約を行い、全ての地域から批准・一任を受けたことにより、第7回交渉で妥結の態度表明を行いました。

組合は冒頭、両協会に対し、全国から24冬季一時金闘争における各地域の意見集約を行った結果を報告。各地域の特徴的な意見として、両協会ともに過去最高額の一時金回答であったことや乗率への上積みなどが評価点として出された一方、両協会のアルファ回答や全日検に対しては有額回答指定日に回答が提示されなかったことが不満点として出されたことを報告しました。

【態度表明】

冬季一時金闘争の妥結の態度表明にあたり、12月3日(火)正午までに各地域労働支部から意見集約した結果、全地域から批准・一任を受け、24冬季一時金要求全般については要求との関係で不満が残るものの現到達をもって『妥結』を表明する。回答額については、両協会ともに昨冬プラス回答。平均

総額でもプラス回答とした。具体的には、昨冬比乗率の上積み、日検の都市調整加算の要求に沿った回答は一定評価できる内容となった。一方で要求算式に沿っていない回答、特に支部間格差を拡大させているアルファ部分については、曖昧な支給判断基準として大きな不満を残した。また、支給条件や諸要求については、理解が得られなく残念な結果となったが、港湾を軍事利用しないことについては、両協会ともに『労使一体となって対応する』とした回答は労使一致した考えとして評価できる部分と

なった。地域からの主な意見まとめでは、物価高騰分を補てんとするに至らない一時金額、人員不足の中で奮闘している従業員への評価不足、組合要求に沿った回答算式になっっていない対応などが指摘された。また、支部の事業収益の増減をアルファ回答という形で従業員に経営責任を転嫁させる不明瞭な支部間格差は組合軽視以外の何ものでもないとする憤懣もかたない気持ちで全地域から寄せられた。

中央闘争委員会は全国から寄せられた24冬季一時金に対する意見、特にアルファ回答は支部収益に応じた利益配分となっていることから、今後の在り方をきめ企業内労使で充分協議し、25春闘に繋げていくことと決めた。次の問題点を提起する。

今後、物流情勢の変化に伴う検数業務の対応などが大きく変化していくことが想定され、その対応策としての労使共通認識に向けた対話の重要性が高まっている。引き続き、検数事業の基盤強化に向けた新規業務や既存業務の維持・拡大、主要取扱貨物の動向についての情報の共有化が求められるとともに労働環境整備等に向けた検数料金の増収対策に全力を上げて取り組みを進めていくことを強く求める。

以上

各地域闘争委員会の皆様、24冬季一時金闘争お疲れ様でした。
 年明け早々には25春闘が始まります。
 引き続き全国団結で大幅賃上げ、労働条件の改善を目指してがんばりましょう！